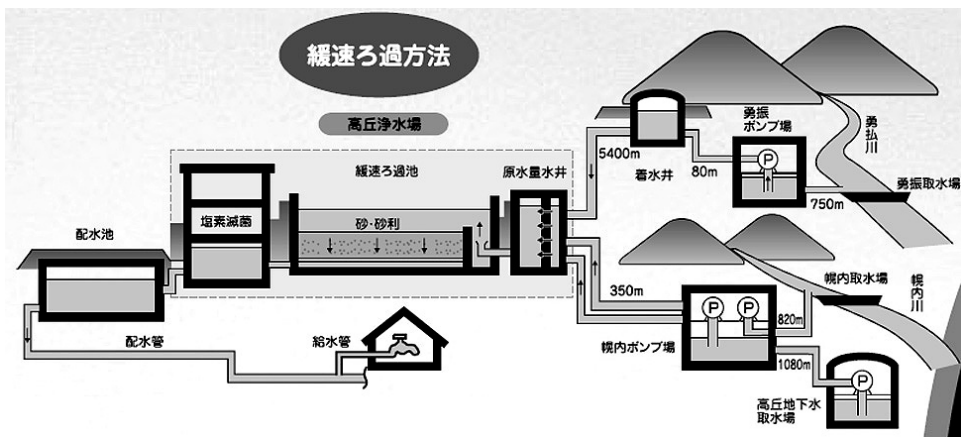


水（の量）は約8万m³で、そのうち6割を高丘浄水場から、4割を錦多峰浄水場から配水するように調整しています。



さて、高丘浄水場に到達した水が、どのように水道水に生まれ変わるのか、見てみましょう。

まず緩速ろ過池に溜められ、砂層を1日あたり約5mという、ゆっくりと

したスピードで浸透しながら、不純物を取り除いていきます。この緩速ろ過という方法は、比較的成本を抑えられるというメリットがあります。

ろ過された水は塩素滅菌され、晴れて水道水となります。その後配水池に溜められ、水道管を通り、皆さんの家庭や会社、お店などに供給されていきます。

その後できた水道水は安心・安全にお届けできるよう、日々厳しい検査を行っています。

「おみずって、こーいーんなに、なごーいーたびをしてるんだね」とまこまは、しぜんがいつぱいだから、こんなにおみずがおいしくなるんだねと、しぜんはたいせつに〜」

水源保全の取り組み

平成8年8月、錦多峰川上流での不法投棄により、水道水異臭事故が発生し、市民生活に大きな影響を与えました。

市では、これを契機に「苦小牧市水道水源の保護に関する指導要綱」を策定しました。この要綱は、水源保護地域を指定し、河川への排水はもちろん、地下水を通して影響が懸念される事業

場などに対して、事前協議を交わすなど、水源の保全に寄与するものとなっています。

また、平成11年には、七条大滝近くの国有林の一部、約4万2,000m²を購入し、「丸山水源の森」として計画的に植樹を進め、水源保全を図っています。

この他にも、市民ボランティアや市職員による清掃活動など、水源保全の取り組みが積極的に行われています。

樽前山をはじめとする苦小牧の豊かな自然に育まれた、おいしい水道水。私たち苦小牧市民にとって、宝物であり、命の水でもある水道水。

今日も明日も、そして後世に渡り、お届けしていきます。安心・安全でおいしい苦小牧の水道水。

おいしいおみずをのんで、きょうもげんきチョップ〜



クイズに答えて「オリジナルグラス」をもらおう

問題

苦小牧市には、高丘と錦多峰、二つの浄水場があります。さて、一日の配水能力は、二つの浄水場を合わせて、どのくらいになるでしょうか。

- A 約6万m³
- B 約7万m³
- C 約8万m³

応募方法

ハガキに答え(A〜C)と、水だよりの感想・住所・氏名・電話番号を記入の上、左記までお送りください。

〒053-8722
 苦小牧市旭町4丁目5番6号
 苦小牧市上下水道部 総務課
 「水だより」クイズ係

締切

12月15日(月) 当日消印有効

賞品

正解者の中から抽選で「オリジナルグラス」を20名の方にプレゼントします。当選された方には、上下水道部から連絡します。

